

間 引 き 剤

私の家の家庭菜園では大抵の野菜をじかまきする。沢山の種子をゴチャゴチャとまいておいて、それを順次間引きして行く。何故こんなことをするかと言うと、狭い畑に色々の種類の野菜を次から次へ作付けするので、常にキュウカンバ・モザイク・ウイルスの寄主が絶えることがないので、寄主の多いこのウイルスのためほとんどの作物がこの病気に悩まされる。そこでちかまきした作物がゴチャゴチャと生えている中から、ウイルス病の徴候の現われたものを順次間引きして行くと、大きくなるころには健全なものが丁度よい間隔に残ってくれる場合がしばしばあるからである。

私はこの手で毎年^{スウヨウ}キュウリの四葉と言う品種を作るならわしとしている。ところが、作物をちかまきすると、どうしても雑草に悩まされる。そこでキュウリの双葉が出て、本葉が1枚ぐらい出かかったころ、まだ雑草は芽を出していなかったの、うね間に土壌処理剤をまいてやろうと、は種直後のキュウリには土壌処理剤として使われているある薬を如露で施した。ところがしばらくすると、キュウリがバタバタと枯れ初め、僅かのものが生き残ったに過ぎない。この四葉と言う品種がこの薬に弱いのか、雨などで土から薬がはねあがってこのような結果になったのか、今以って理由はわからない。しかし結果として丁度間引した程度に生き残ってくれたので、その後はそのまま生育を続けて、結構収穫も得られた。

キュウリは間引きに大して手間もかからないが、カブ、ニンジンなどでは随分手間を食う。そこで一体間引きの手間と言うものはどのくらいかかっているのだらうかと思ひ、丁度

目 次

研究以前の問題に関心を	2
東京大学名誉教授 戸荏義次	
植物調節剤研究に望む	3
農林省農林水産技術会議 山本 毅	
陽草と陰草	4
農薬工業会会長 吉田 豊	
畑作の地域性	5
農林省農事試験場 中山兼徳	
施設栽培野菜の除草剤	11
農林省野菜試験場 栗山尚志	
昭和47年度春夏作そ菜・花き関係 除草剤、生育調節剤試験成績概要(2)	31
農林省野菜試験場 西 貞夫	
新登録除草剤一覧	38
農林省農蚕園芸局植物防疫課 新除草・調節剤	
トリブニール除草剤	40

手元にあった昭和43年度農産物生産費調査報告書を見たが、はっきり間引き時間とし出ているものはタバコとテンサイだけで、タバコでは福井県で総労働時877.9時間中76.3時間で、相当手間を食っていることがわかるが、テンサイでは総労働時間約50時間中北見の5.1、帯広の2.7、函館0.7時間で、甚だまちまちである。野菜類では栽培管理の中に含まれているのか、間引きとしてとり出して上げてないのでわからない。兎も角、間引きと言うものは相当大きな手間を食っているのだと思う。そこで何か間引き剤を工夫する道は考えられないものだらうかと、ふと考えた次第である。

(日本植物調節剤研究協会会長 河 田 党)